

有田川町議会広報  
**かわら版**

第78号

令和7年8月発行

二次元バーコード  
から議会の情報  
をご覧ください



有田川町議会 検索



**星にとどけ!**  
—短冊に願いを込めて—

**6月定例会**

- 一般質問 6議員が登壇 ……③
- 新規採用職員が一般質問を傍聴…⑨
- 1議案が否決→再議も否決に ……⑪

# 議会「ライブ配信(生中継)」やっています!

リアルタイムで本会議の様をお届けしています。  
録画配信とともにパソコンやスマートフォンなどでお気軽にご覧ください。



令和7年第2回定例会の一般質問は6月12日に行われ、6人の議員が登壇しました。  
各議員の一般質問は紙面の都合上、要約したものを掲載しています。

## 一 般 質 問 6人の 議員が登壇

殿 井 堯	新たに議会へ出席する職員の姿勢は	P 3
椿 原 竜 二	通学路の安全確保に向けて	P 4
増 谷 憲	図書館政策の充実を	P 5
栗 山 昌 之	議事録公開と法令順守は	P 6
堀 江 眞智子	住民が安心できる災害対策を!	P 7
岡 省 吾	安全が確保できる道路の維持管理を	P 8

※各議員ページの二次元バーコードをスキャンすると、一般質問の動画が視聴できます。

次回、令和7年第3回定例会の一般質問は9月11日、12日を予定しています。



殿井 堯

# 新たに議会へ出席する 職員の姿勢は

**問** 4月から新たに議会へ出席の職員に聞く。取り組む仕事の内容に対して、どのような抱負をもっているか。意気込みを聞く。

**答** (総務政策部長) 企画・政策立案、人事・財政管理、防災対策、地域との連携など、多岐にわたる業務を行っている。町民の皆さまにとって、より良い行政サービスを提供できるように取り組んでいきたい。また職員が一丸となって、安心安全な住みよい町づくり、持続可能な行政運営に努めていく。



**答** (財務課長) おもに予算編成などに関する財政業務、財産管理や監査委員に関する業務を担っている。中でも財政に関して、本町の財政状況は、健全化判断比率で判断すると、すべての数値は基準内となっております。

健全な状態であるといえる。しかしながら、実質公債費比率の水準は高く、また財政構造も硬直化の傾向であり、今後も財政運営は依然として厳しいものであると考えている。このような状況であるが、近年の物価上昇に加え、公共施設の老朽化に伴い、必要となる施設の更新や改修事業、また突発的な災害復旧事業などにも対応できる弾力性のある財政力を維持していくことが重要である。事務事業の見直しや経費削減を常に意識し、健全な財政を維持していけるよう努力したい。

**問** 彼らに町長・副町長はどのように期待しているか。

**答** (町長) 2人から意気込みなどを答弁させていたのだが、リーダーシップで解決する力を最大限に引き出して行政運営に務めていただきたい。

**答** (副町長) 町長と同じ思いである。20年たっても、住みよい町になるようご指導いただきたい。

**問** 合併して20年。中山町長は、町を有名にしてきた実績がある。まだ中山町長は必要である。

**答** 町長選へ出馬していただけるのか。そして今後の町政に対する抱負はどうか。

**答** まだ、道路整備など山積している課題が多い。皆さんからご理解を得られるならばもう一度出馬して仕事をしたい。そして今後も町民の声に耳を傾けながら住みよい行政運営をしていきたい。

**再度、町長選に出馬されるか**

# 通学路の安全確保に向けて



椿原 竜二

**問** 危険な通学路がいくつも見受けられる。危険箇所の点検体制は。

**答** 少年センターが日々の巡回パトロールの中で危険箇所の現状把握を行っている。

**問** 先日、通学路を歩いて確認すると、車では気づかない箇所がたくさんあった。危険箇所の情報共有はできているのか。

**答** 教育委員会・建設課・県担当部局・警察などで情報を共有している。

学校では、その情報をもとに、地区児童会などで危険箇所の確認を行い、教員も通学路で見守りを行うなどの



通学路の安全対策費は事業枠で確保を

対応をしている。

**問** ソフト面で安全の確保に努めてくれている。しかし、ハード面の整備は行政の責任でもっと進めるべきだと思う。

危険箇所改善に向けて整備する手順は。

**答** 地元区から危険箇所の要望書をいただき、区長や関係者と協議しながら工事している。

**問** 区からの要望はたくさんあり、なかなか進まないのではないかと、予算はいくら確保しているのか。

**答** 町内には106区あり、令和7年度の要望数は724件である。9422万6千円と限られた予算で、危険度や公共性の高いものから優先的に取り組む。

**問** 維持管理の一般枠ではなく、通学路の安全対策としての事業枠で予算措置する考えは。

**答** 建設課や教育委員会と協議を行う。予算がないことを理由に、危険箇所を放置する考えはないので安心してほしい。

## 文化×教育×観光 ×防災拠点

**問** ワカヤマソリュウの拠点整備は、プロジェクト会議で検討を進めていくとのことだった。その後は。

**答** 魅力あるまちづくりに資する大きな地域資源になりうると考えている。

プロジェクト会議では、拠点を明確化することが望ましいなどの意見が出た。

明恵ふるさと館周辺を中心とした拠点整備が必要との意見がある。全体的なまちづくりの中で検討したい。

**問** 県と連携して進めていく考えは。

**答** 県との連携も必要と考えている。観光面も含めて連携したいと思っている。

**問** 明恵上人やワカヤマソリュウを単独で



明恵上人坐像(歓喜寺蔵)×ワカヤマソリュウ



活用するだけでなく、防災機能を併設した複合施設の整備を検討してはどうか。

地域資源と公共施設を兼ね備えた未来志向の拠点整備の構想や可能性をどう考えるか。

**答** 大きな予算になるが、より素晴らしいものを整備できればと考えている。

※その他「明恵上人の魅力を活かしたまちづくりについて」質問をしました。



増谷 憲

# 図書館政策の充実を

**問** 図書館基本計画を策定してはどうか。

**答** 今後、考えていきたい。

**問** 図書館司書が関わるレファレンス業務。大事な業務といいながら実績が少ない。努力が足りないのでは。

**答** サービス向上に努力したい。

**問** ワカヤマソウリュウの資料収集や常設展示も必要ではないか。また引き続き今後も地域プロジェクトマネージャーの配置が必要でないか。

**答** 金屋図書館に恐竜関連の本を常設している。各種特集コーナー



ワカヤマソウリュウの骨格模型(ALEC内)

の設置を考えていく。今後も地域プロジェクトマネージャーには関わってもらおう。

**問** アレックのおもな業務は、蔵書数や貸出数の管理など図書館業務が中心である。今の図書館条例を廃止して総合的な町図書館条例として整備してはどうか。

**答** 図書館施設の今後の

構想を考える中で、各部署とも連携しながら考えていく。

**問** 第6次学校図書整備等5カ年計画での取り組みで学校図書館図書標準はどうか。

**答** 小学校では標準冊数を達成している。中学校で達成していない学校がある。今後、できるだけ努力したい。

**問** 学校司書は学校を掛け持ちしている。今後、正規での増員採用はどうか。

**答** 増員は今後、考えていく。

**問** 学校図書館担当指導主事の配置はどうか。

**答** 指導主事を配置していないが、読書活動推進加配で対応している。

## 公共交通政策の充実

**問** 地域公共交通計画の認識と策定する考えは。

**答** 策定の予定はない。今後、必要性が出れば、しかるべき時期に検討したい。

**問** 町内の公共交通の見直しと新たな戦略はどうか。

**答** 一部の地域で公共ライドシェアを導入したり、AIオンデマンド

配車システムの実証実験として運用開始の予定がある。路線バス・タクシー事業者および関係機関と、その地域に寄り添った交通政策を行ってみたい。

**問** 交通施策の事業を体系化し、ホームページや冊子などにまとめ普及してはどうか。

**答** 今後、関係機関と意見交換し、研究していきたい。

**問** みんなの定額タクシー事業はいい制度だが、料金が低い。値下げして利用増を図ってはどうか。

**答** 今後、関係機関と検討していきたい。

**問** 交通政策の財源として、交付税措置の増額を国に求めているのか。

**答** 関係機関へ働きかけたい。

# 議事録公開と法令順守は



栗山 昌之

設置は考えてない。

**問** 県市町村職員研修協議会主催の法制実務研修。過去5年間の参加者数は。

**答** 過去5年間で4名、令和7年度は7名が受講予定。

**問** 町で設立している委員会や協議会の議事録をホームページで公開はできないのか。

**答** 各会の議事録などは、情報公開条例の規定により公開ができるためホームページでの公表は考えてない。

**問** 委員は、どのように選定され任命されているのか。

**答** 各種委員会の委員の選定は、それぞれの会で協議のうえ、適任である方を選定・任命する。

**問** 委員は、外部の選定委員会を作って選定してはどうか。

**答** 外部の選定委員会

めている。

また、職員研修は、有田川町コンプライアンス行動指針をもとに、毎年テーマを設けて実施している。

**問** コンプライアンス行動指針の内容は。

**答** 法令を順守した適正な事務の執行、服務規律・公務員倫理の徹底、情報管理の徹底、交通法規の順守、良好な職場環境の確保、住民サービスの向上、以上6項目を掲げている。

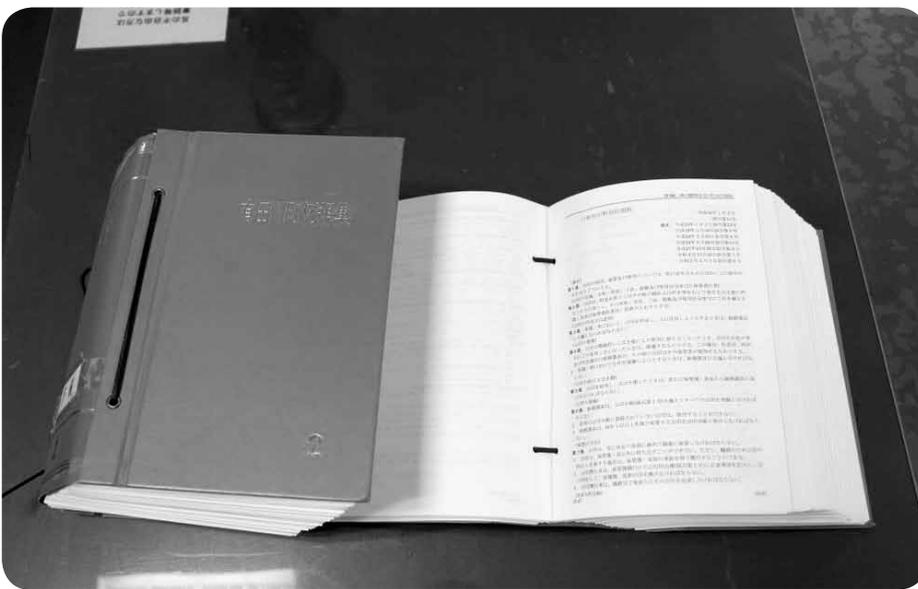
**問** 3月議会での本会議や全員協議会で、整合性の取れない答弁をしたものに対する対応は。

**答** 本会議や全員協議会では、きちんとした資料を整えて答弁させていただくことになっている。

また、議会終了後、部長会議を開催し、提言された内容の再確認や答弁などの検証を行っている。

**問** 3月議会での対応を検討すると回答されたその後の対応はどうか。

**答** 押印の管理は「有田川町公印規程」を改定し、適正な管理に努



有田川町規集

## 今後の都市公園計画は

**問** 都市公園の用地買収は、3月議会です「寺池は断念し、別の場所を探す」と町長が答弁。その後の経過は。

**答** 比較的人口が集まっている都市計画区域内で土砂災害・浸水災害の可能性が低く、対面通行道路と接しているような場所を検討している。

**問** 公園以外に排水計画の作成など、実施しているか。

**答** 今後の雨水対策事業は、本年度より内水浸水想定区域図作成業務に着手している。

※その他年度を超える事業の計画や総経費算出はどのようにしているのかについて質問しました。



堀江 眞智子

# 住民が安心できる 災害対策を!



**問** 天満川の治水安全度。早期向上に向けて進捗状況はどうなっているのか。  
**答** 令和5年度に内水氾濫対策として遊水池の用地を確保。

令和6年度に詳細測量設計。  
令和7年から整備工事を進め令和9年度に完成予定。  
護岸の改修は、令和6年度にJA本所裏の整備を行い、順次上流方向に整備を行う予定。  
**問** 天満川に流れこむ側溝を早期に改修する計画はあるのか。  
**答** 天満川の遊水池および拡幅改修工事が完成した後、水路の状況を調査し検討していき

たい。

**問** 豪雨による庄二区内の側溝の氾濫対策、道路の冠水対策の計画はどうなっているのか。  
**答** 令和7年度から緊急自然災害防止対策事業で測量設計業務、物件補償および工事請負費2800万円を着手していく。

## 教職員の働き方は

**問** 本町に勤務する教職員は、勤務時間内に翌日の授業の準備をする時間が取れているのか。  
**答** 小学校ではおもに児童が下校した後。中学校はおもに授業時間の空いている時間が授業準備に充てられる。ICT教育を導入していることから、授業で扱うプリントなどの印刷が少なくなるなど、授業準備の時間や手間

が割けるようになってくる。

**問** 教職員は、労働基準法で定められた45分間の休憩時間を勤務時間内に取れているのか。  
**答** 各校で休憩時間の設定は異なるが、取れている。難しい場合もあるが今後とも、校長会で指導していく。

**問** 教職員の働き方を改善するためには、教職員の大幅増員が必要だと考えるか。  
**答** 教職員の増員は必要であると考えます。業務の負担や授業持ち時数の軽減などを図るためには望ましい。

## 生理用品の整備は

**問** 東尾理子さんの意志を引き継ぎ、継続して生理用品を置けるようにする考えはあるか。  
**答** 東尾さんが代表を務めるNPO法人TGPの意志を引き継ぐため、学校での性教育に関する取り組みを強化することで応えたい。生理用品は、今後も引き続き寄贈いただくと伺っている。なくなつた際に、町で購入するかは検討していきたい。



# 安全が確保できる 道路の維持管理を



岡 省 吾

**問** 草木の生い茂る季節。以前から指摘しているが、道路の草刈りはどうか。

**答** 県では国道・県道の草刈りを年1回実施。昨年、草刈りの回数を増やしてほしいと県に依頼したが、今年度も県予算が昨年並みとなっており、同程度になるかと思われる。引き続き、諦めずに県へ働きかけていきたい。山間地の町道では、地元区やシルバー人材センターと草刈りの委託契約をしている。

また2人の会計年度任用職員を道路整備員として雇用し、道路の維持管理を行っている。道路上方部に張り



出している支障木。道路法では車道の上空4.5m、歩道の上空は2.5mの範囲内に障害となるものを置いてはいけないと定められている。本当にその高さのレベルで管理されているのか。

**答** 道路構造令の建築限界内に入ってきた支障木は、官地の場合、県も町も除去している。

**問** カーブ付近の見通しが悪い箇所が立木伐採は進んでいるか。

**答** 昨年も国道480号で危険箇所の早期伐採を要望した。

対応されていない箇所も多くあり、引き続き要望したい。

**町の偉人に  
スポットを**

**問** 偉人とは「歴史に残るような並外れて優れた人」のことを指すのだという。町ホームページで「ふるさとの偉人」を検索したところ、町の偉人として4氏が紹介されている。その中に境川出身の偉人である建畠大夢が紹介されておらず残念だ。紹介にあたり、人物



境川出身の建畠大夢

選定の基準を設けているのか。

**答** 基準は設けていない。今後、関係者の同意を得る必要があるが、順次、掲載していきたい。紹介ページの充実を図っていききたい。

**問** 建畠大夢をどう認識されているか。

**答** 有田川町境川出身の著名な彫刻家。最も知られる有名な作品は、現在も国会議事堂の中央広間に設置されている初代内閣総理大臣伊藤博文の銅像がある。

**問** 建畠大夢など偉人の功績・足跡を紹介する看板を地域に設置する考えはないか。

**答** 温泉や道の駅など町内施設にパネルを設置できないか考えてみる。

**問** 小中学生に対して「ふるさとの偉人」に関する教育はどうか。

**答** 総合的な学習の授業で副読本を用いている。その本中で「有田川町にゆかりのある人物」として紹介して活用している。学校からの依頼があれば、それぞれの偉人をテーマにした出前授業も実施している。

町民向けにも講演会や学習会、企画展の開催を実施。町の歴史に興味関心を深め、地域愛を育んでいきたい。

## 新規採用職員 議会を傍聴

今年4月に新しく採用された町職員4人が、6月12日午前中の一般質問を傍聴し、アンケートに回答してくれました。

有田川町職員としての責務を自覚し、住民に信頼される職員として、職責を全うされることを期待します。

私語が全くなく、緊張感がある雰囲気で、形式やルールが重視される場だと感じた。

厳粛な空気が張り詰めていて身が引き締まる思いでした。

### 議場の雰囲気を どう感じましたか？

議場の中に入った時の雰囲気は、和やかな雰囲気の中にも緊張感があり、議会が始まるとさらに空気感が変わり、普段感じることのないような貴重な経験ができました。

張り詰めた空気によりよい町にするための議論が行われていると感じました。すべて議長が議会を進行し、スムーズに議会が進んでいたと思いました。

通学路の危険箇所に関する現状認識や今後の点検体制については、普段の業務の中でも意識できることであり、住民の方々、特に子供たちの安全に対する内容であったので、日頃の認識を改めようと感じました。

業務に生かせる質問として、「清水地域のライドシェアの状況と課題」を挙げます。過疎化が進む清水地域でライドシェアを行うことに意義はあるが、何より大切なのは事業を始動させてからも随時、現状を把握し、そこから分析、評価と事業を見直していくことだと再確認できたためです。

### 今後、業務に生かせる 質問はありましたか？

新たに、議会に出席する職員に対して意気込みを質問していたのを聞き、改めて自分自身のやるべきことを明確に理解し、業務にあたる必要があると感じました。

図書館政策の5か年計画の取り組みについての質問が業務に生かせると思った。施策の目的や取り組みについての現状について深くまで質問・答弁されており、客観的な意見からの計画についての振り返りの重要性について学んだ。

# 生活と暮らしを守る

## ～ 物価高騰対応重点支援給付金など ～

令和7年第2回定例会は、6月3日から17日までの日程で開催しました。  
 本定例会に提案された議案のうち、一般会計補正予算（第4号）は否決しました。  
 なお、この補正予算は、6月24日の臨時会で再議に付されましたが、再び否決しました。

各会計	補正額	補正後総額	おもな事業内容
一般会計（第3号）	1億857万円	189億4303万円	物価高騰対応重点支援給付金など
一般会計（第4号）	8832万円	190億3135万円	有田周辺広域圏事務組合分担金
国民健康保険事業特別会計	596万円	36億1431万円	システム更新委託料
後期高齢者医療特別会計	291万円	8億6440万円	システム更新委託料

### 特別養護老人ホーム特別会計

◎債務負担行為の設定  
 1億3300万円  
 （令和8年度～12年度）  
 特別養護老人ホーム  
 しみず園の指定管理料



### 条例の一部改正・制定

◎町職員の勤務時間、  
 休暇等に関する条例の  
 一部を改正  
 人事院規則施行に伴  
 い仕事と育児の両立支  
 援制度利用に関する職  
 員の意向確認等に係る  
 規定を整備。

◎町職員の育児休業等  
 に関する条例の一部改  
 正  
 人事院規則施行に伴  
 い部分休業制度の拡充  
 を図る。

◎有田川町特別職の職  
 員で非常勤のもの報酬  
 及び費用弁償に関する  
 条例の一部を改正  
 選挙に係るもの  
 の報酬および費用弁償  
 を国会議員の選挙など  
 の執行経費の基準に関  
 係する法律に定める額  
 とする。

### 財産の取得

◎町内小中学校の  
 情報端末を購入  
 1億3151万円  
 6440円  
 契約者：和歌山電  
 工・日本電通コンソ  
 シアム

問 タブレット端末機  
 の活用で教育効果はど  
 うか。

答 学習意欲の向上や  
 思考が広がる。自身の  
 興味関心を広げたり、

深めたりするのに役立つ  
 していると考えられる。

問 授業で使用してい  
 る時間はどうか。

答 学年が進むにつれ  
 て、使用頻度が高まっ  
 ている。

問 タブレットの廃棄  
 には情報漏洩など、セ  
 キュリティ対策は。

答 処分する際、まず  
 民間でデータ消去をし  
 物理的破壊をする。  
 破壊を完了した証明  
 書の提出を求める。

問 他国では読解力の  
 低下などが起こり、活  
 用をやめた国がある。  
 慎重な活用がいるの  
 ではないか。

答 活用を目的とせず、  
 学びを深めるために活  
 用している。

◎災害対応特殊救急  
 自動車の購入  
 2180万円  
 契約者：和歌山トヨ  
 タ自動車株式会社 有  
 田店



◎高度救命処置用資機  
 材の購入  
 1045万円  
 契約者：日本船舶薬  
 品株式会社 神戸支店

◎避難所用ワンタッチ  
 簡易ベッド及び組み立  
 て式トイレ（車いす対  
 応型）  
 5236万円  
 契約者：株式会社山  
 口商会 和歌山有田営  
 業所

# 義務的経費が否決 ～必要経費のため支出へ～

**問** 広域圏事務組合への負担金8832万6千円の積算はどうか。

**答** 広域圏事務組合の予算が7億7671万4千円。本町の分担金は均等割30%、人口割70%の9242万8千円。本町はすでに補正で410万2千円を予算化している。それを差し引いた8832万6千円が今回の補正額となる。

**問** 義務的経費か。

**答** 地方自治法第284条および第287条の手續きによる広域の規約に定められた負担割合に基づいて負担すべきもので義務的経費である。

**問** 湯浅町が離脱すれば、分担金は増えるのか。

**答** 現段階では正式に決まっていない。当然、もし1市1町になれば分担金も変わってくる。

**問** 広域圏事務組合で令和7年度予算が一度否決され、6月9日に可決された。経緯は。

**答** 議決のことは、広域事務組合のことで、答弁を控える。

**問** 1市1町の計画になると思うが、現段階で進める上でどう考えているか。

**答** 湯浅町が脱退して1市1町になったとしてもごみ処理は避けて通れない。他へ委託してやるというところは考えられない。用地はご理解をいただけるよう努力をし、令和13年度の期限に間に合うよう進める。

**問** 広域圏事務組合で令和7年度予算が一度否決され、6月9日に可決された。経緯は。

**答** 議決のことは、広域事務組合のことで、答弁を控える。

**賛成**  
ごみ処理は最も基礎的な公共サービスで自治体の責務である。ごみ処理は大切で、どんな場合でも止めるわけにはいかない。現施設の耐用年数も近づいている。今、止めてしまつては将来の住民にツケをまわすことになりかねない。  
(椿原 竜二議員)

**反対**  
湯浅町が離脱するということ、分担金も確定されない。土地購入費、施設建設費の持ち出しも不透明なままである。住民負担は一段と大きくなると予測される。一度立ち止まって考えるべきである。新施設建設に反対というわけではない。  
(堀江 眞智子議員)

## 【討論】賛否が分かれる！ 一般会計補正予算が否決

### 一般会計補正予算(第4号) (有田周辺広域圏事務組合 新ごみ処理施設にかかる分担金)

～ 議決の結果を受けて～  
地方自治法第177条第2項の規定に基づき、長の原案執行権として、当該義務的経費を予算に計上し、支出を行う。  
町民生活に直結する重要な経費であることから、円滑な行政運営と住民サービスの継続のため適切に対応していく。(中山町長)

### 令和7年第2回定例会の採決状況 (誌面の都合上、賛否の分かれた議案のみ掲載します)

議案名	結果	議員名													
		濃添	栗山	本下	椿原	中島	星田	谷畑	西	林	岡	森谷	堀江	増谷	殿井
国民健康保険税条例の一部を改正(専決処分の承認)	可決	×	×	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	○
有田川町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	○
有田川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	○
有田川町一般会計補正予算(第4号)	否決	×	×	○	○	○	×	-	×	×	○	×	×	○	○
有田川町一般会計補正予算(第4号)に関する議決の再議	否決	×	×	○	○	○	×	-	×	×	○	×	×	○	○

(注) 谷畑進議員は、議長のため採決には加わらない。○は賛成 ×は反対

# 産業建設住民常任委員会

産業建設住民常任委員会を6月4日に開催し、建設環境部と産業振興部から報告および説明を受けました。

## 【建設課】

○町道北入山上浦線道路災害復旧工事

試掘および透水試験を行った結果、不合格となり工事内容を変更。債務負担行為の補正期間…令和8年度 金額…9500万円



## 【商工観光課】

○かなや明恵峡温泉 PFIの進捗

6月定例会に上程される予定だった3議案  
・運営権  
・実施契約  
・かなや明恵峡温泉  
・条例の廃止

(仮)実施契約の内容を協議中のため、9月定例会以降に変更となりました。

## 【意見書の提出】

○農業の危機打開を踏まえ、米の安定供給と食糧支援を求める意見書

増谷議員より意見書案が提示され検討した結果、提案主旨に委員会全員が賛成。

本人の強い意志を尊重するため、増谷議員の発議で本会議に上程すると決定。

- ①病院や福祉施設、学校、子ども食堂など、運営が続けられるよう政府の備蓄米の無償提供の拡大や市場への放出などで食糧不足への不安を解消すること。
- ②米を増産し、不測の事態に備えた米を備蓄へと拡大すること。
- ③農家が安心して米を生産し、国民に安定供給できる価格保障や所得補償などの政策に転換すること。

提出先  
内閣総理大臣  
農林水産大臣  
経済産業大臣  
財務大臣

# 総務文教福祉常任委員会

総務文教福祉常任委員会を6月5日に開催し、教育部の報告および説明を受けました。

## 【子ども教育課】

○議案に上がっているGIGAスクール用のコンピュータタブレット端末の更新について和歌山県の共同購入事業による一般共同入札の業者と随意契約を行い、現行タブレットをデータ消去の上処分を行う旨の説明を受けました。

## 【社会教育課】

○ワカヤマソウリュウについて地域振興アドバイザーの荻野氏からいままでの活動内容などの説明を受けました。また、有田川町産出の化石を生かしたまちづくり推進として、3年間のミッション案の提案などを受けました。

展示物(模型)の活用や、商工観光課と協力するなど、ワカヤマソウリュウを生かしたまちづくりをしていきたいとの話を聞きました。今後、産業建設住民常任委員会との協調により地域振興を進めていけたらと感じました。

○令和7年度子ども議会が7月11日(金)八幡小学校6年生により開催されました。それに先立ち、6月27日(金)から八幡小学校で、事前学習会を実施しました。





# 窓口業務の新しいカタチ

産業建設住民常任委員会

5月20日から21日にかけて、広島県安芸高田市と三次市で視察研修を行いました。

安芸高田市は、平成16年に6つの町が合併して誕生した市で、広島県の中北部に位置する自然豊かな自治体です。

安芸高田市では、住民サービスの維持・向上と職員の業務負担軽減を目的に、平成23年から市内で初めて「窓口業務を民間事業者へ委託」しています。

証明書の発行や印鑑登録などをマニュアル化したうえで、通常4名、繁忙期は5名の民間スタッフが対応。

委託先は公募型プロポーザル方式により選定され、契約金額は3年間で約4127万円でした。

導入の効果として



引きや委託先のサービス品質評価、市職員の

窓口経験低下などが課題として挙げられていました。

「質の高いサービスの確保」「職員の負担軽減」「年間約1700万円のコスト削減」が挙げられていました。

人事異動の影響を受けにくく、窓口体制が安定する点も評価されています。実施前後で行った満足度調査でも、多くの項目で評価が向上したとのこと。一方、業務範囲の線

また、窓口にはマイナンバーカードを活用した「らくらく窓口証明書交付サービス」も導入されており、申請書の記入や本人確認などで証明書が交付される仕組みが整備されています。

2日目は三次市川西地区にある「いつわの里」を訪れました。中山間地域である川西地区は、高齢化や人口減少という課題に直面するなか、住民自治によるまちづくりを積極的に推進している地域です。

## できる人でできることを

「自分たちのまちは自分たちでつくる」という姿勢が地域に根付き、強い印象を受けました。

本町でも、人口減少や職員数の制約のなか、持続可能な行政運営をめざす中で、今後の一つの参考事例となると感じています。

地域住民が主体となり2014年に設立された「株式会社川西郷の駅」は、地域の拠点施設「いつわの里」の運営を担っています。全世帯の85%が出資者となる仕組みを構築し、行政に依存しない持続可能な地域づくりを実現していることは、全国的にも先進的な取り組みです。



補助金に頼らず、地域の課題を事業として解決する姿勢は、大きな学びとなりました。特に印象的だったのは「たとえ絵にかいたモチでも、ないよりは良い」という言葉です。夢や理想をイラストで表現したビジョンが、地域の向かうべき方向を示し、多くの取り組みを可能にしてきたとのことでした。

コンビニ設置の要望に対しても、地域の実情に合わせて、農協とファミリーマートの複合型店舗として実現するなど、柔軟で現実的な対応をされていました。組織運営のあり方にも独自の理念が貫かれており「できる時に、できることを、できる人で」というまちづくりの姿勢には大いに共感しました。



**しっかり育てよ!**  
 ~あらぎ島にて(八幡小学校)~

【町民の皆さまへ】

**次回定例会の予定**

令和7年第3回定例会は9月2日開会予定で、一般質問は9月11日、12日に行う予定です。

ぜひ、傍聴にお越しください。

**請願・陳情の受付**

第3回定例会での審議を希望する場合は8月22日までに議会事務局へ提出してください。

お問い合わせ ☎22-33294  
 吉備庁舎4階 議会事務局まで

**広報広聴常任委員会**

- ◎ 増谷 憲
- 本下 雅敏
- 椿原 竜二
- 中島 詳裕
- 岡 省吾

◎は委員長  
 ○は副委員長

**編集後記**

木々が萌え、新緑がまぶしい季節はあっという間にすぎ、突然夏となってきました。

令和の米騒動と米不足がニュースで報じられています。

米の値段が上昇し心配でしたが、政府の備蓄米放出で落ち着きつつあります。

田植え後のきれいに整列された早苗を見ると、今年は特別におしく感じます。

稲作は冷夏でも、気温が高すぎても収穫量に影響が出ます。

気温の調節はできませんが、秋の収穫時には農家のご苦勞が報いられ、安心して米を生産し、安定して供給できるようになってほしいと願います。

(本下 雅敏)